

令和6年9月30日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称・・・グループホームこころ

サービス種類・・・認知症対応型共同生活介護

文書発送日・・・令和6年9月30日

出席者（発送先）

事業所	1人	利用者	人
利用者家族	人	地域代表者	1人
松江市職員	人	包括支援センター	1人
知見を有する者	人	その他（陽恵苑職員）	2人

議題・課題

○現状報告 別紙参照

○活動報告 別紙参照

○地域との関わりに関する事項（コロナ対応について） 別紙参照

○医療連携に関する現状・・・ 別紙参照

○出席者コメント

地域包括支援センター…

地域の現状は5類になって以降、イベントや施設のお祭りを再開する動きがあります。社協にも手品や合唱される方が登録しておられるので活用してください。総合福祉センターで家族介護者のつどいがありますので案内させていただきます。

地域代表者…

発達障がいの研修を受けました。自閉症、多動症、学習障がい、出来ないことを指摘するのはだめ、長く見守り褒めてあげること、自分たちは必要な存在なんだという自覚、環境作りが必要、否定するのはいけない。ヒヤリ事故報告の興奮怪我と関連する所があると思います。研修を受けても自分に出来るのか難しいと感じました。民生委員協力員は福祉協力員との連携が取れればいいと思います。避難所運営訓練ゲームを行いました。内容は様々な避難者を避難所のどこへ配置するのかです。

その他陽恵苑職員…

オレンジカフェに行きました。この近辺でも認知層の家族の方の相談が伺えたと思いますが、そのあたりの仕組みづくり、どこから発信すればよいか、窓口はどこにするのかなど考えないといけないです。地域密着型ですし、地域の方に気軽に来てほしいが事業所にいざ行こうとするとハードルが高いのではないかと思います。イベントなどを通してやりたいが継続しなければいけないと思います。

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
☐ 要望・助言等を受ける機会を設けたか。	○

地域密着型サービス 運営推進会議 グループホームこころ現 状 報 告

令和 6 年度 第 3 回 会議

令和 6 年 9 月 28 日

入居者状況(令和 6 年 9 月 28 日)

Aユニット 男性 2 名 女性 7 名	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
	3 名	4 名	0 名	1 名	1 名
	平均介護度	2.22	平均年齢	88.88 歳	82～96 歳

Bユニット 男性 2 名 女性 6 名	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
	4 名	1 名	1 名	2 名	0 名
	平均介護度	2.125	平均年齢	84.5 歳	74～96 歳

○入退居について

8/20 Bユニット 1 名退去

8/24 Bユニット 1 名入居

9/27 Bユニット 1 名退去

9/30 Bユニット 1 名入居予定

○待機者、相談状況について

- ・待機申込者 1 件 (9/27 時点)
- ・空き状況の問い合わせ件数 2 件

○活動・行事について

Aユニット

8 月 26 日 夏祭りを行いました (別紙参照)

かき氷、たこ焼きなど夏の風物詩を準備しました。

職員の我流によるドジョウ掬いを披露頂きました。(顔出し OK とのことで掲載)

Bユニット

8 月 17 日 夏の風物詩のかき氷を召し上がっていただきました。(別紙参照)

カルピスの原液を使いましたが、とても美味しく召し上がっておられました。

共同イベント

9 月 10 日 敬老会を地域の保育園の方をお招きして行いました。(別紙参照)

園児たちが運動会で披露する予定のパラバルーンを見せてもらい、さらに歌のプレゼントをもらいました。入居者様が子どもたちの頑張っている姿に笑顔や涙を見せてくださる場面があり、頑張って準備してきてよかったと思いました。今回久しぶりに地

域の方とのふれあいを持つことが出来ました。今後も地域密着型サービスとして、地域とのふれあいを大切にしていきたいと思います。

○今後の行事予定

- ・Aユニット：9月29日 9月は防災の日。それにちなんだ人命救助を模したゲームを実施予定。
10月27日 「食欲の秋」をテーマに、かぼちゃとさつまいもの味を楽しむ予定。
- ・Bユニット：現在のところ未定。

○職員活動状況（研修状況）

施設内研修

- ・認知症介護基礎研修 5名受講中、内1名修了、1名入職に伴い研修受講の打診中。
- ・グループホームこころとしての研修
8月16日 虐待防止委員会によるスピーチロックの研修
9月20日 安全な移乗方法についての研修

外部研修

- 9月5日 認知症介護実践者研修 修了
10月9日～ 認知症対応型サービス事業管理者研修 受講予定

○利用者様の状況

- ・4月以降から入居者様の入れ替わりが多く、入居者自身は生活に慣れることに戸惑っている様子です。新たな入居者様については、これまでの在宅での生活を大切に頂きながら、元々おられる入居者様についてもこれまでの生活が一変することのないように職員一同丁寧にケアを行っています。

○医療連携について

- ・嘱託医、協力医の先生方、定期巡回訪問看護、調剤薬局の方々に来苑していただくことで、健康指導・服薬指導を受けております。ご家族様の対応で定期受診をしている先生方とも受診前に必ず『医師とケアマネの連絡票』を用いて連携を取っております。より一層の連携に努めていきます。
- ・来月以降にはインフルエンザの予防接種も随時行っていく予定です。現在、ご家族様にも予防接種の同意を頂いているところです。
- ・10月より高齢者等を対象としたコロナワクチンの定期接種も始まるそうなので、そちらについてもご家族や主治医と連携を取っていきます。

○ご家族様とのかかわりについて

- ・面会については、前回の会議報告と変わらず、事前予約をして頂き15～30分とさせて頂いています。県外の方には面会条件として抗原検査実施のお伝え・お願い・確認を行っています。県外から中々帰ってこられないご家族様については、電話連絡を時折させてもらっています。現状、市内のキーパーソン様に関しては、居室に案内させていただき、ゆっくりとお話する機会を設けています。
- ・マスク着用とアルコール消毒は継続しています。

○ヒヤリハット・事故報告について

【事故報告】8月 計0件、9月 計4件 【ヒヤリ報告】8月 計0件、9月 計0件

Aユニット

9月18日 8:00 誤薬

S様が朝食を食べ終わっていたため朝食後薬を準備していた。その際、空腹時とかかれた内服薬が残っていたため同時に飲んで頂く。別の職員から「それは空腹時ではないか」と声かけがあったが、『同じタイミングで飲んでも良いと聞いている』とのこと。ケアマネがいたため事情の確認を行う。ケアマネはS様入居時に朝食前が一番空腹時である為、その時に服用するようにお願いしていた。また飲み忘れて朝食後薬と内服するのではなく、10時頃でもよいので空腹のタイミングに内服するようにもお願いしていた。しかし今回現場職員間でも内服方法について情報が誤っていたため、再度全員に周知徹底することとなる。また、朝食前の薬があることについて、どうすれば忘れずに内服できるのかを会議で検討した。

➡服薬ボックスに朝食前ありと目立つボードを貼ることで内服忘れを防止している。

Bユニット

9月1日 14:15 転倒

廊下で音がして様子を確認するとM様が他入居者様のドアを背に尻もちをついておられた。職員は二人いたが、一人はトイレ掃除、一人は共用ホールで他入居者様を見守りしながらおやつの準備をしていた。

・日々の歩行状態について観察して、適宜フォローの必要性について判断する。

9月4日 12:50 落薬

昼食後、I様を居室に案内して、ベッド前の床にふやけた薬が落ちているのを発見する。確認すると眠前薬であった。前日の眠前薬であるとわかる。

➡薬がふやけていたので、一度口に入れて飲み込みが出来ず、口から出して捨てたものと思われる。その場で必ず飲み込みを確認することを徹底する。

9月5日 15:05 すり落ち

おやつの声かけに訪室。ベッド横のポータブルトイレを使ってトイレをされると言われるので、トイレに座ったことを確認して退室する。その間、他の方の対応やお茶出しをしていると居室よりA様の声あり。ポータブルトイレと車椅子の間の足元で座りこんでおられる。本人様より「車椅子の鍵がかかってなくて動いた」と言われるが、車椅子のロックはかかっていた。

➡トイレは自立されているので、こまめに様子確認を徹底する。